

## 8-4-9 国土基盤技術委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 部会の開催

技術委員会は統括技術委員会開催の翌月開催とし、計4回(5月10日、7月19日、9月6日、11月1日)、対面会議を基本として開催した。また、統括技術委員会からの依頼を受けて、メール等を活用し、意見照会、情報交換等を随時実施した。

#### (2) 専門委員会活動の情報共有

本委員会を構成する7専門委員会(河川計画、河川構造物、ダム・発電、港湾、砂防・急傾斜、海岸・海洋、土質・地質)の委員会活動、イベント・セミナー開催状況を共有し、同様の活動を行う際の参考とした。

また、各専門委員会で計画されたイベント・セミナーについては、随時、メール等による審議を行い、技術委員会の承認をとり、技術部会へ上申した。

#### (3) 統括技術委員会指示事項等の審議・対応

##### a) 歩掛・共通仕様書改訂要望

国土基盤技術系業務の歩掛・共通仕様書の改定について要望や意見を共有した。また、砂防堰堤予備設計にかかわる改訂要望を、砂防・急傾斜専門委員会が主体となり整理し、統括技術委員会を経て、国土交通省へ提出した。

##### b) 生産性向上WG

河川構造物、ダム・発電、砂防・急傾斜の3専門委員会から生産性向上WGへ参加する体制となった。WG活動として、主にBIM/CIM業務の見積様式の作成、令和5年度原則適用後のフォローアップアンケート票の作成が行われた。

#### (4) 外部機関からの依頼に対する対応

国土交通省等の関連外部機関が主催する委員会等の参加要請に対して、技術委員会内で対応委員を調整し参加した。令和5年度に対応した主な委員会は次のとおりである。

・『次期積算システム検討WG』(国土技術政策総合研究所)のメンバーとして、河川構造物専

門委員会から参加。

- ・『第1～5回 河川技術評価委員会(水管理・国土保全局)』のオブザーバーとして、河川計画、河川構造物、ダム・発電、砂防・急傾斜、海岸・海洋の各専門委員会から参加。
- ・『第17回河川管理施設の点検結果評価基準等検討会(水管理・国土保全局)』の委員として、河川構造物専門委員会から参加。
- ・『歩掛実態調査・記入要領(一財国土技術研究センター)』のヒアリングを、河川構造物専門委員会が対応。
- ・『第29～31回 河川砂防技術基準検討委員会(水管理・国土保全局)』の委員として、河川計画、ダム・発電の各専門委員会から参加。
- ・『河川堤防の液状化対策の手引き改定委員会(国土技術政策総合研究所)』の委員として、河川構造物、土質・地質の各専門委員会から参加。

### 2. 次年度活動について

令和6年度は、これまでの取組みを引き続き実施するとともに、各専門委員会活動を基本としながら、国土基盤技術委員会として、共同・連携した活動についても行っていく。

- ・事業計画に基づく技術委員会の定例的活動の実施。
- ・統括技術委員会からの指示事項、検討事項への対応。
- ・統括技術委員会への要望の検討、上程。
- ・イベント・セミナーの実施計画の審議と承認。
- ・国土交通省等からの依頼事項等への対応。
- ・その他、国土基盤技術分野関連に関わる諸課題への対応。

(国土基盤技術委員会委員長 大橋 広治)